

平成29年度七二会小学校グランドデザイン

長野市教育の基本理念「明日を拓く豊かな人間性の実現」

長野市教育振興基本計画「しなのきプラン29」目指す人間像 グローバルな視野を持ちながら、ローカルに逞しく生きる自立した18才学童期 [知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育む]

- 確かな学力の育成 ・基礎的な知識、技能 ・知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力 ・学習に取り組む意欲
- 豊かな人間性の育成 ・自らを律しつつ、他人と協調する心 ・他人を思いやる心や感動する心
- 健康・体力の育成

学校の取組 5

- 1 基礎基本の定着
- 2 授業規律・学習規律の確立
- 3 授業と繋がる家庭学習の充実
- 4 学力調査の活用
- 5 同僚性の向上

長野市の学力観

- A 学力=葉 (知識・技能)
 - B 学力=幹 (活用、思考力・判断力・表現力)
 - C 学力=根 (意欲・態度)
- ★未来力★自律力★絆力★実践力

家庭の取組 7

- 1 毎日、朝食を家で食べさせましょう。
- 2 規則正しい生活をさせましょう。
- 3 ゲームや携帯電話、スマホの時間のルールを決めましょう。
- 4 学校での出来事について、話を聞きましょう。
- 5 できるだけ授業参観や運動会などの行事に行きましょう。
- 6 ニュースに関心を持たせましょう。
- 7 良いところをたくさん見つけ、どんどんほめましょう。

学校教育目標

心豊かに よく学び やりぬく子ども

家庭、地域、学校と連携し キャリア教育を主軸として 知・徳・体の バランスのとれた「生きる力」を育成し、郷土(七二会)のよさを感じ 守り育てていく たくましい子供を育む。

- かしこい子
 - ・基礎基本を身に付け、粘り強く考え、自分の考えを持ち さらに人の意見と比べて考えを深める子
- やさしい子
 - ・自分を大事に思うとともに 相手の気持ちを考える 思いやりの心をもつ子
- たくましい子
 - ・継続してやり抜く 強い意志と身体をもつ子
 - ・健康と安全を考え、命を大切に子

学校の特徴

- ・地域から温かく惜しみない協力をいただき、七二会ならではのよさを生かした教育活動
- ・中山間地に広く散在する集落から集団登校で通学する児童達

児童の様子

- ・素直で明るく 全校が兄弟のように助け合い 心配りができる児童
- ・音楽が好きで歌声を響かせ合うことを楽しむ児童

運営の重点

一 確かな学力を培う かしこい子

- 1 基礎基本(教科知識技能、授業学習規律)の定着
- 2 共に学びを深め合う学習の充実
「しなのき授業スカゲート」1時間の学びの深め方習得
- 3 「聞く・話す」「表現する」力の育成
- 4 「授業と繋がる家庭学習」の充実

二 やさしく 思いやりのある子

- 1 児童主体の活動の喚起(児童会活動)
- 2 体験・交流学習の充実
- 3 読書活動の推進(児童会読書リリック等)
- 4 いじめのない仲間
(人権教育・道徳の授業の充実)

三 たくましく 健やかな子

- 1 集団遊びの拡充(異年齢、遊び指導)
- 2 安全指導の徹底(遊び方・避難訓練・集団登下校)
- 3 健康教育の充実(性教育・食育等)

ことば

ひらいて つながる

なかま

七二会小キャリア教育全体計画を踏まえ、知徳体のバランスのとれた生きる力、七二会のよさを感じ守り育てていく子ども

学力向上に向けた取組(学力向上プラン①)

- 1時間の学びを深める「しなのき授業スカゲート」の確かな実施と良さの習得
- 基礎基本の定着…各教科知識技能、「学習習慣・授業規律表」学力調査等、自己評価を活用
- 適切な学習集団規模の工夫
- ICTを活用した分かる授業
- 共に考えを深め合う授業
- 発表タイムの充実

基本的な生活習慣の確立と家庭学習の改善

(学力向上プラン②)

- 家庭との連携…「学習生活習慣」「学習の手引き」
- 小中つながる「学習の手引き」内容修正と活用

授業力向上と日常の授業改善(学力向上プラン③)

- 授業研究「学び合う育ち合う授業の創造」
 - ・国語と人権教育を基に ・一人一公開授業
- 低高学年会の活発化
 - ・教材研究、学級経営、教室等の学ぶ環境づくり

保小中の円滑な接続

- 子供を真ん中に、地域・関係機関、保護者の更なる連携構築
- 保育園・中学校との連携
 - ・交流体験学習 ・相互見学参観
 - ・教科授業行事交流 ・職員の研修会共同開催
 - ・中学校と連携した信州型コミュニティスクールの整備、推進

人と人、自然、事象と関わり、知識技能・社会性を広げるとともに、相手や先人を理解し、思いやりの心を育くむ

- 学校行事やふだんの生活において、地域の方の参加、ご支援をお願いします。
 - ・栽培活動 ・昔の遊び ・おやき、味噌づくり
- いじめを見逃さず いじめを許さない学校
 - ・学習や生活全般で互いを尊重する道徳人権教育を推進し、児童の人権感覚を磨きます。
 - ・教師も絶えず人権感覚を磨きます・地域の歴史調べ・お年寄施設、障がい者等交流
- 触れ合いつながりを強める時間(七二会タイム)の充実
 - ・全員で遊び込む、SST、相談、児童会、個別学習等…教師も学級もひらく(師弟同行)
- 諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てます。
- 児童会活動と連携し、児童主体の目当てのもてる自主的活動工夫喚起
 - ・読書リリック、昔の遊び大会等

一人一人を大切に教育

- 教育的支援を必要とする子どもへのチーム支援
 - ・的確な児童理解を基に個々に応じた支援の充実
 - ・幼保中と早期からの連携
- 校内支援チーム、スクールカウンセラー(月1)や特別支援学校教育相談等の活用

異年齢集団、なかま力の育成

- ・体を使った外遊びや昔の遊びと関わり方の習得(七二会タイム)
- ・学校家等生活全体で楽しめる遊び場の設定(けん玉、コマ、百人一首、カルタ)と誘い

危険に気づき自ら対応する力の育成

- ・学校安全計画の計画的実施
- ・予告なし避難訓練の複数回実施
- ・危険を見通す体験や大雨や地震等災害時の対応を考える縦割検討会
- ・通学路安全マップの見直し更新
- ・保護者地域関係機関との連携

計画的・継続的な健康教育

- ・学校保健計画を基に性教育、食育等の位置づけと確かな実施
- ・自己課題をつかみ、自ら取り組めるように生活習慣調べや体力テスト等の活用と支援
- ・家庭との連携